

ビジネスマネジャー 検定試験[®]



東京商工会議所検定試験
特任アンバサダー
島 耕作
「社会をよくする企業の振興プロジェクト」
公式アンバサダー

©弘兼憲史 / 講談社



	申込期間	試験期間	受験料(税込)
第19回	5月17日(金)～28日(火)	6月21日(金)～7月8日(月)	7,700円 ※CBT方式は、利用料2,200円(税込)が別途発生します。
第20回	9月20日(金)～10月1日(火)	10月25日(金)～11月11日(月)	

ビジネスマネジャー検定試験[®]とは

企業組織の要である管理職(マネジャー)の土台づくり

管理職(マネジャー)は、企業と社員の結節点として、“経営ビジョンの浸透”や“事業戦略の策定・遂行”、“チームのモチベーションの向上”、“人材育成”などの多様かつ重要な役割を担っています。まさに企業の浮沈の鍵を握る要の存在です。

しかし、経営環境が絶え間なく変化する中、課題ごとにゼロから理論や手法を学び始めるマネジメントでは対応が遅れ、取り残されてしまうでしょう。**マネジメントの成果(=アウトプット)を出し続けるためには、知識・理論の習得(=インプット)が不可欠**です。

ビジネスマネジャー検定試験は、マネジャーとして活躍が期待されるビジネスパーソンに対し、その土台づくりのサポートを目的とし、「あらゆるマネジャーが共通して身につけておくべき重要な基礎知識」を効率的に習得する機会を提供します。



試験概要

■IBT・CBTの2方式

※IBT(Internet Based Testing)は、各自のコンピュータで受験する方式。CBT(Computer Based Testing)は、テストセンターのコンピュータで受験する方式。

■試験時間 90分

■多肢選択式

■出題範囲：公式テキスト(最新版)の基礎知識とそれを理解した上での応用力を問います。最近の時事問題からも出題する場合があります。

■100点満点とし、70点以上をもって合格とします。

試験の詳細は、検定試験ウェブサイトをご確認ください。

受験者データ

試験結果

(人)

	受験者	実受験者	合格者	合格率
第18回(2023年10月)	6,207	5,777	1,653	28.6%
第17回(2023年6月)	5,403	5,066	1,326	26.2%

受験のメリット

① マネジメントに必要な総合的な知識を効率的に学習できる。

管理職に必要な基礎知識が1冊の公式テキストに網羅されているため、マネジャーとしてステップアップを図るビジネスパーソンにとって、その第一歩を踏み出すにあたり最適な教材です。業種や職種を問わないことも特徴のひとつです。

② 多くの管理職が抱く不安や戸惑いを軽減できる。

管理職に就任し、何の失敗や戸惑いもなくチームをリードし結果を出し続けている人などいないのではないのでしょうか。本検定で得る知識が、目標の達成や課題解決までのスピードアップに必ず役立ちます。

③ キャリア開拓の礎となる。

管理職が身につけておくべき知識を有していることを客観的に示すことができます。昇進や転職にあたり、ご自身の武器のひとつになるでしょう。

学習項目

ビジネスマネジャー検定試験では、マネジャーに求められる知識を大きく3つのカテゴリーに大別し、多岐にわたる実践的な知識を体系立てて学習できるよう、分かりやすく整理しています。

カテゴリーは、コミュニケーションや人材育成、チームビルディングなどを学ぶ**人と組織のマネジメント**、事業管理や課題に応じた戦略の立案などを学ぶ**業務のマネジメント**、リスク管理やコンプライアンス、メンタルヘルスやハラスメントの職場管理を学ぶ**リスクのマネジメント**に分類し、ビジネスの実践の場で必要不可欠な知識や情報を網羅しています。

マネジャーのミッションは
チームとして成果を出すこと



学習項目3本柱

●マネジャーの役割と心構え

- マネジャーが直面するビジネス環境
- マネジャーに求められるミッションと5つの役割
- マネジャーの資質
- マネジャーの心構え

●業務のマネジメント

- 経営計画・事業計画の策定
- マネジャーに求められる業務のマネジメント
- 成果の検証と問題発見およびその解決
- 経営にかかわる基礎知識

●人と組織のマネジメント

- マネジャー自身のマネジメント
- コミュニケーションの重要性
- 部下のマネジメント
- 上司・外部とのコミュニケーション
- 人材の育成と人事考課
- チームのマネジメントと企業組織論

●リスクのマネジメント

- リスクマネジメントの考え方とその実践
- 職場におけるリスクマネジメント
- 業務にかかわるリスクマネジメント
- 組織にかかわるリスクマネジメント
- 事故・災害時にかかわるリスクマネジメント 他

新しくなった東商検定 **3**つのポイント

ポイント 1 試験方式が IBT 方式と CBT 方式から選べる



IBT (Internet Based Testing) はインターネットを通じてご自宅や会社のパソコンで試験を受ける試験方式です。カメラを通じて試験中の監視・本人確認を行います。移動の手間や時間を節約し、いつもの環境で受験できます。



CBT (Computer Based Testing) は全国各地のテストセンターにて、会場内に設置されたパソコンで試験を受ける試験方式です。パソコンやネット環境の準備ができない方や不安な方も安心して受験できます。

ポイント 2 試験日時が選べる



所定の試験期間内であれば、土日・祝日・平日問わず受験できます。時間も日中だけでなく、朝10時から夜は19時まで都合の良い時間を選択できます。

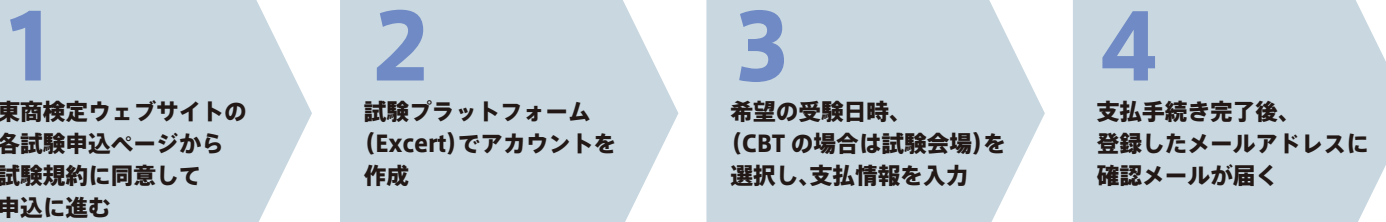
※CBT方式は、会場によって異なる場合があります。

ポイント 3 合否がすぐに分かる



試験を終了すると、システムによって即時採点され、画面上に合否や得点が表示されます。学習の成果を確認して、次のステップアップにすぐに取り組みます。

申込方法 (IBT・CBT 共通)



※申込後のキャンセル・返金等は一切できません。特にIBTのお申込みの際には事前に使用機器や受験環境等の要件を確認し、動作確認を行ったうえでお申込みください。

試験当日の流れ

IBT

- ①試験プラットフォーム (Excert) へログイン
- ②パソコンや通信環境、受験環境を確認し、「試験開始をクリック」をクリック
- ③試験監督がカメラを通じて本人確認・受験環境を確認
- ④試験開始
- ⑤全ての問題への回答終了後、「試験終了」をクリック
- ⑥終了画面で試験結果を確認
- ⑦合格者に「デジタル合格証」取得サイトの URL がメールで届く

CBT

- ①予定時間の30分～10分前までに試験会場に到着
- ②受付・本人確認
- ③試験会場に入室、設置されたパソコンで Excert にログイン
- ④パソコンの試験画面に受験 ID を入力し、「試験開始」をクリックして試験を開始
- ⑤全ての問題への回答終了後、「試験終了」をクリック
- ⑥終了画面で試験結果を確認
- ⑦合格者に「デジタル合格証」取得サイトの URL がメールで届く

会社や学校での活用をご検討の方へ
(団体申込の制度を活用いただけます)

企業や学校などで受験者数が3名以上の場合、団体申込をいただくことで、以下のようなメリットがあります。

- ①団体単位で申込状況や成績の管理、受験料の一括支払ができる
(10名以上の団体は申込期間後の後払いが可能)
- ②団体受験者限定の先行申込期間があり、希望の受験日時での予約が取りやすい
- ③自社・自校の会場で、集合型で試験を行う「団体開催」の実施が可能 (10名以上の団体対象)

詳細は東商検定試験情報ウェブサイトからご確認ください。

詳細・お問合せ 東京商工会議所 検定センター

<https://kentei.tokyo-cci.or.jp/bijimane>

ビジネスマネジャー検定

検索



マンガで分かる!

ビジネスマネジャー検定試験のポイント

<https://kentei.tokyo-cci.or.jp/bijimane/about/comic/>

